

平成28年度

環境活動レポート



【対象期間】 平成28年5月～平成29年4月

【発行年月日】 平成29年9月24日

株式会社阿部製作所

1.環境方針

基本理念

株式会社阿部製作所は、生産材の基幹としての金型の供給により、社会生活の向上に寄与するとともに生産における環境配慮を行い、グローバルかつ地域社会に貢献する企業を目指します。

行動指針

株式会社阿部製作所は、以下の環境保護保全活動を継続的に維持します。

1. 環境に関する法律を遵守します。
2. 省資源、省エネルギー、廃棄物削減に向け下記項目を重点テーマとし改善活動に取り組みます。
 - ① 電力使用量の削減
 - ② 製品不良率の削減
 - ③ 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
 - ④ 化石燃料使用量の削減
 - ⑤ 総排水量の削減
 - ⑥ 製造工程で使用する化学物質の管理
3. 全従業員が改善活動の意義を理解し、積極的に実践出来るよう、この方針を周知します。
4. 当社の環境活動レポートを社外に公開します。

制定日 平成21年3月9日
改定日 平成24年11月2日

株式会社 阿部製作所
代表取締役 阿部 文三

2. 事業活動内容

(1)事業所名及び代表者名
株式会社 阿部製作所

(2)所在地
本社 岩手県北上市北工業団地1番9号
関連会社 阿貝精密電子(蘇州)有限公司 蘇州市相城区東橋鎮潘陽工業園B2-4

(3)環境管理責任者連絡先
高橋こずえ TEL 0197-66-3121
FAX 0197-66-3122

(4)事業活動の内容
半導体製造装置用プレス金型・モールド金型設計製作 機械部品・治工具設計製作

(5)事業活動規模
2016年度 4月決算
売上高 4億6千万円
従業員数 44名
建屋面積 3811m²

(6)認証登録範囲
全社・全組織・全事業活動

(7)社歴
昭和36年9月 個人会社阿部製作所創業
昭和48年6月 法人化改組「株式会社 阿部製作所」となる
昭和63年3月 北上工場建設開始 岩手東芝エレクトロニクス(株)様の協力工場となり
半導体後工程委託加工開始
平成元年.2月 北上工場完成 花巻より北上市へ新築移転
金型工場金型製造部門稼働開始
平成12年12月ISO9001認証取得
平成15年7月 中国 阿貝精密電子(蘇州)有限公司 稼働開始
平成20年12月ISO9001/2008年度版へ移行
平成22年1月 エコアクション21認証・登録

3.実施体制図

1組織



2.役割

代表者	環境管理責任者を任命する 環境管理責任者からの報告を受け全体の見直しを行う 取組に対する資源を用意する 環境方針を定め誓約し取組の基本的方向を全従業員に周知する
環境管理責任者	代表者に代わってシステムを構築し運用する 環境目標・活動の実施状況を定期的に確認する 代表者に結果を報告する
部門責任者	省資源、省エネ、節水を奨励・実施する 従業員に教育訓練を実施する
エコ委員会	環境目標・省資源、省エネ、節水等に関する活動案を作成し実行する 教育訓練の計画案及び実施をする 部門責任者とともに目標達成の取組を推進・チェックする 環境管理責任者の補佐をする
全社員	部門責任者のもと省資源、省エネ、節水に努める 決められたことを守り環境活動へ積極的に参加する

4.環境目標

1 主な環境負荷の実績

主な環境負荷の実績

項目	単位	平成27年度	平成28年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	982280.9	503000.3
電力使用量	kwh	1721074	875640
産業廃棄物排出量	t/年	17	2.48
一般廃棄物排出量	t/年	3.23	1.12
総排水量	m ³	1078	773

二酸化炭素排出係数は環境省(H27)の東北電力実排出係数 0.559kg-CO₂/kwhを使用

2 環境目標の設定

環境目標

基準年度(平成27年度)比較の削減率(%)

項目	基準年度実績値		中期目標		
	実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
電力の二酸化炭素排出量の削減	962080.4	kg-CO ₂	0.25%	0.25%	0.25%
ガソリン・軽油等二酸化炭素の削減	3721.4	kg-CO ₂	0.25%	0.25%	0.25%
灯油等の二酸化炭素の削減	5679.1	kg-CO ₂	0.25%	0.25%	0.25%
産業廃棄物排出量	17.0	t	0.25%	0.25%	0.25%
一般廃棄物排出量	3.2	t	0.25%	0.25%	0.25%
総排水量	1078.0	t	0.25%	0.25%	0.25%
工程内不良率削減	1.4	%	0.25%	0.25%	0.25%
グリーン購入	57	%	0.25%	0.25%	0.25%

5.環境活動計画

環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水に取り組みます

主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	取組	評価	備考
二酸化炭素排出量の抑制			
照明	使用していない場所の消灯の実施	○	
	照明器具の定期的清掃	○	
	業務時間以外は基本的に消灯	○	
	間引き照明の実施	○	
冷暖房	エアコンフィルターの定期清掃	○	
	温度設定の実施	○	
節電	設備は生産が終了したら電源オフにする	○	
	休憩時不要な箇所の消灯実施	○	
車	エコ運転の教育及び実施	○	
廃棄物の排出抑制			
一般廃棄物	社内ネットワーク等により紙の使用削減	○	
	両面コピーなどして利用する	○	
	ゴミ分別の徹底	○	
	コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルを実施	○	
産業廃棄物	社内不良の削減活動	○	
	マニフェストをもとに廃棄物の適正の処理を実施	○	
	廃棄物の処理場を定期的に訪問見学等で確認する	○	
節水			
用水・排水	洗面所・トイレなどの使用時の節水実施	○	
	水道を出しすぎないようにする	△	
その他			
施設・設備	化学物質の購入及び管理	○	
	未使用の設備の電源管理	○	
グリーン購入			
グリーン購入	グリーン購入品の推進	△	

5.2 活動状況



フロンガス定期点検



柿の収穫祭



落穂拾い



松くい虫には参りました



中がスカスカ でも慎重に



ゴミのポイ捨てはやめよう!



会社周辺の美化運動



オイル漏れ
想定訓練 その1



オイル漏れ
想定訓練 その2



オイル漏れ
想定訓練 その3

6.環境目標の実績

環境目標の確認と評価

環境目標の達成状況

項目	単位	基準年27年度	28年度			達成状況	
		実績値	削減	目標値	実績値		
二酸化炭素 排出量	1.電力の二酸化 炭素排出量の削減	kg-CO ₂	962080.4	0.25%	959675.2	503000.3	達成
	2.ガソリン・軽油等 二酸化炭素の削減	kg-CO ₂	14512.4	0.25%	14476.1	13580.1	達成
	3.灯油の二酸化 炭素の削減	kg-CO ₂	5674.7	0.25%	5660.5	5261.4	達成
廃棄物排出量	産業廃棄物排出量	t	17	0.25%	17.0	2.4	達成
	一般廃棄物排出量	t	3.2	0.25%	3.2	1.1	達成
総排水量	総排水量	t	1078	0.25%	1075.3	773	達成
工程内不良	工程内不良	%	1.4	0.25%	1.4	0.4	達成
グリーン購入	グリーン購入	%	57	0.25%	56.9	40	未達

環境活動の状況

水道管の凍結により断水があった。その後の水道料金が約半額になっていた。長年の水漏れが原因だった可能性が強い。データなどで毎月確認して安全委員会で討議しているが、データを取り続けていたので判明した。データを監視することの大切さを認識した。各エネルギー等のデータも引き続き監視する。

廃棄物の処理場の見学を行い、実際に自分たちが排出した廃棄物等の責任を再認識できる機会を継続していきたい。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける環境基本法など、環境関連法規のついて遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民からの苦情、訴訟等について、問題はありませんでした。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
1.環境方針	環境方針に沿った活動は良く展開できている。	全社で環境方針を良く理解し、方針に沿った活動を継続的にする事。
2.環境目標	目標達成状況は概ね良好ではあるが、環境活動の成果なのか、事業環境の変化によるものなのか見えない部分がある。	事業終息後一年を経過し、金型事業単独での実績値が見えてきたはずなので、平成29年度では、それに基づいた適正な目標設定を行うこと。
3.環境活動計画及び環境経営システム	日常的な環境活動は定着し良く実施されているが、最大のロスである製品の作り直しによるエネルギーロスはなかなか減らず、より一層の努力が必要。	環境活動を5Sや現場改善の視点で融合させれば、やるべきことは無限にある。たとえばエンドミルなどの工具の管理など「見える管理」により購入を減らし、資源の削減に寄与でき、かつ会社のコストダウンに繋がる。もっと具体的な活動が出てくることを期待する。
4.その他	なし	なし

以上